

2026 年 3 月 9 日 第 1 版

## 研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 神経精神医学教室

脳神経外科学教室

### 記

研究の名称	電子カルテ情報を用いた入院患者のせん妄の関連要因の探求と予測モデルの開発
対象	大阪医科薬科大学病院に 2024 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの期間に入院された患者さんの電子カルテ情報が対象です。約 1000 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2029 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：電子カルテの医療記録と診療情報を解析することで、せん妄の関連要因を明らかにし、せん妄を早期に発見するための予測モデルを作成することを目的としています。</p> <p>利用方法：本研究は医療者による医療記録と患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	情報：医療者（医師、看護師、薬剤師、リハビリ職）による医療記録、年齢、性別、主疾患、既往歴、手術情報（術式、手術時間）、検査データ、内服薬、治療内容、入院期間、ICU 入室有無、看護ケア、せん妄の有無、認知機能、病室の種類や場所、食事や排泄状況、転倒・転落の有無、せん妄評価記録等

<p><b>利益相反について</b></p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 神経精神医学 教授 金沢 徹文</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p><b>問い合わせ窓口</b></p> <p>【研究機関】</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 神経精神医学教室</p> <p>担当者 金沢 徹文</p> <p>連絡先 072-683-1221（代） 内線 2357、PHS 53513</p>	

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
研究責任者 金沢 徹文 殿

研究の名称	電子カルテ情報を用いた入院患者のせん妄の関連要因の探求と予測モデルの開発
-------	--------------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）